

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	緑化推進事業				担当	都市計画部	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6335	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則、川口市緑の基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、市民ボランティア、事業者		市民、市民ボランティア、事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民、事業者、行政が一体となって緑の創出に取組み、緑豊かな潤いのある美しいまちづくりを進める。		・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導 ・公園花壇や街路のフラワースタンドなどでのボランティア活動支援 ・フラワーロードのスポンサー企業、団体の募集 ・生け垣設置、屋上緑化等の補助	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・緑化指導及び緑化補助による宅地の緑化 ・緑化ボランティア活動支援による公共空間の緑化 ・事業資金に充てるため、フラワーロードスポンサー事業及び緑の羽根や環境みどり基金の募金活動を実施		宅地及び公共施設の緑化により、緑の美しい景観が創出された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑化ボランティア活動団体数			指標・目標値の説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		95.00		95.00		95.00		95.00		0.00
	実績値・達成状況	83.00	未達成	81.00	未達成	76.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	2 細目	1 細々目	緑化推進事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	12,843	13,683		20,588		16,567		16,567		
決算額(B)=(C)+(D)	12,234	13,421		14,603						
財源※	特定財源(C)	6,095		4,607		8,698		8,949		
	一般財源(D)	6,139		8,814		5,905		7,618		
概算人件費(E)	14,220	13,860		14,220		14,580		14,580		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	26,454	27,281		28,823		31,147		31,147		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	ボランティアの高齢化により、活動の減少や団体数の減少が生じていることから、事業のPR活動を実施し活動への新規参加を促進した。引き続き、新規ボランティアの登録や効果的な活動につながるよう事業の周知・活動に対する支援を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

担当課	みどり課
事業名	緑化推進事業

I 定量評価（評価の各観点について、一定の基準に基づいた数値による評価）

	評価の観点					選択肢	
	①趣旨・目的及び達成手段	②事業の効果	③事業の効率化	④課題解決への取り組み	⑤今後の事業の方向性		
A委員	2	2	2	2	2	4 適正	適正な事業運営がなされている
B委員	2	2	2	2	2	3 概ね適正	工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている
C委員	3	3	3	3	3	2 改善の必要あり	概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である
D委員	2	2	2	2	2	1 抜本的見直し	抜本的に事業の運営を見直したほうがよい
E委員	3	3	3	2	2		
F委員	3	3	3	2	3		
G委員※	(3)	(3)	(2)	(2)	(3)		
委員会全体	2	2	2	2	2		

※ 当日欠席した委員の評価は参考値であり、全体の評価には反映していない。

II 定性評価（評価の各観点について、意見やアドバイス等のコメントによる評価）

No.	評価の観点	評価コメント
1	①趣旨・目的及び達成手段	緑化推進事業の目的が住みよいまちづくりとあり、地球温暖化などの問題とも関わってくるため、緑化を推進することは大切なことである。
2	①趣旨・目的及び達成手段	緑は市民にとって必要なものなので、必要な事業と認識している。
3	①趣旨・目的及び達成手段	緑化推進事業は必要な事業だと思うが、補助金とボランティア団体に頼った方法で緑化が進むのか疑問が残った。
4	①趣旨・目的及び達成手段	趣旨・目的は納得できるが、達成手段については疑問に思う。町内会や商工会は地縁団体と認識しており、私はボランティアとは異なると感じているが、決して地縁団体の人が協力することは悪いことではないと思う。
5	①趣旨・目的及び達成手段	フェンスや屋上等の補助金の在り方を考える必要があるのではないかな。
6	①趣旨・目的及び達成手段	緑化推進事業のフラワーロードや公園のプランターなどは良い事業だと思うが、ボランティアに頼りすぎている印象である。
7	②事業の効果	これまでの活動としては問題ないと思うが、このまま同じことを繰り返していくことは難しいように思う。
8	②事業の効果	交付実績が低い又は無い補助事業については、廃止すべきではないかな。

No.	評価の観点	評価コメント
9	②事業の効果	補助金の実績が非常に乏しいため、実施するにあたりもっと積極的に行っても良いのではないかと思う。また、緑の基本計画があるが、どの程度具体化されているのか不明瞭であるため、事業によって緑化の進捗度が図れないのではないかと感じている。
10	②事業の効果	ボランティアによる緑化活動は進めているが、緑化のための活動だけに留らず、子どもたちに緑の大切さを教える機会を増やすなどの人材育成にも力を入れて欲しい。時間はかかるが、将来のボランティア活動をする人材の確保にも繋がってくるのではないかと思う。
11	③事業の効率化	ボランティア活動に頼った方法、補助金の交付実績が少ないのであれば、効率的とはいえないと思う。
12	③事業の効率化	多少偏りがあるように見受けられるので、市内まんべんなく緑化していく必要があると思う。
13	③事業の効率化	ボランティアが高齢化していて、担い手が少なくなっているというところはあるが、ボランティアのため、予算は変わっていない。事業自体は、このまま継続していくものだと思う。
14	③事業の効率化	今まで学校への補助金の交付を行ったことがないとのことであったため、子どもたちに緑の大切さを教える機会を増やすことも関連するが、学校でお花を植えるなどの活動に補助金を交付することも検討してみてもどうか。
15	④課題解決への取り組み	補助メニューが一般家庭では実行が難しいものであると感じるため、一般の人にも取り入れやすいメニューを増やしていけたらいいのではないか。
16	④課題解決への取り組み	市民に需要がない制度は変えていく必要がある。
17	④課題解決への取り組み	ボランティアありきではなく、人件費を捻出し、事業を継続することは出来ないのだろうか。
18	④課題解決への取り組み	補助金の交付実績が少ない状況で、同様の取り組みを繰り返しているのであれば、本当にこのままで良いのか疑問を持った。
19	④課題解決への取り組み	課題の把握がなされていれば交付実績が無い補助事業が残り続けることはないのではないか。支出がなかった分は基金に戻すことができるという仕組みにより、それが可能になっている。
20	④課題解決への取り組み	他市の取り組みなど、効果や効率性のあるものを取り入れてはどうか。
21	⑤今後の事業の方向性	人材育成に力を入れて欲しい。
22	⑤今後の事業の方向性	緑化計画などの緑地の必要性の周知がされていないのではないか。
23	⑤今後の事業の方向性	必要な事業ではあると思うので、多少の縮小はあっても継続してほしい。
24	⑤今後の事業の方向性	土地の購入目的は違ったとしても、ぜひ赤山城跡整備事業と連携し、市民にとっても両事業にとっても有益な用地買収ができることを願っている。
25	⑥事業全体を通した総合的な評価	全体として戦略性に欠けているように感じる。

No.	評価の観点	評価コメント
26	⑥事業全体を通した総合的な評価	時代と共に市民の考え方は変わってきているので、色々な意見を参考にして、新しい緑についての取り組みを検討してはどうか。
27	⑥事業全体を通した総合的な評価	緑化推進事業の趣旨・目的は良いが、補助金のメニューを増やしたり、人材育成に力を入れるなど、事業内容・方法の改善が必要。

【評価結果まとめ】

①趣旨・目的及び達成手段	
2 改善の必要あり	緑化推進が必要なことに異議はないが、やり方や事業内容に問題点が見受けられる。
②事業の効果	
2 改善の必要あり	補助金の交付が乏しい状況が長年続いているため、事業内容を見直した方がよい。
③事業の効率化	
2 改善の必要あり	特にボランティア団体にかなり依存しているため改善が必要である。
④課題解決への取り組み	
2 改善の必要あり	課題解決の取り組みについては、補助金の交付実績が無い状態が続いていることから、補助メニューを見直して、使いやすいものにした方がいいのではないか。 また、他自治体の例なども活用してはどうか。
⑤今後の事業の方向性	
2 改善の必要あり	緑化推進がどの様に具体化されているか不明な点があったため、緑化がどの様に進んでいるか、アピールできるような取り組みに期待したい。 また、緑の大切さを教えるような機会をもっと増やしていく必要もあるのではないかな。
⑥事業全体を通した総合的な評価	
	全体的に戦略性に欠け、ボランティアに頼り過ぎている印象がある。補助メニューを増やしたり、人材育成に力を入れるなど、事業内容・方法の改善が必要となる。色々な意見を参考に、新しい緑についての取り組みを検討してほしい。